

県議会報告

討議資料

2016年10月



平成28年9月定例会は9月20日から10月7日まで開催され、128億円余の補正予算案を含む17議案を審議しました。一般質問は私を含めて15名でした。質疑全般を通して、県民の安心・安全に対する行政の配慮の薄さを、今議会でも強く感じました。上関原発埋め立て延長許可、米軍F-35Bの岩国基地配備など、県としての姿勢は全く伺えず、地域の声を聞こうとしていません。

米軍基地問題について

F-35B騒音影響少ない

質問 ①沖縄県知事の埋立承認取消しを違法とする辺野古訴訟判決により、「普天間移設の見通しが立たない限り、空母艦載機の先行移駐は認めない」との県の方針は影響を受けるのですか。

回答 ②F-35Bステルス戦闘機の配備について県は「今以上の基地機能の強化は容認できない」との立場ですが、疑問点に対する国の回答をどのように評価し

ていますか。

回答 ①どのような状態になれば見通しが立ったと言えるかは、現時点で予断を持って答えられません。

②騒音予測では市街地への影響は少ないとされていますが、機体の安全性など回答が不十分な点について補足説明を求めており、こうした検証を踏まえ適切に判断します。

質問

①沖縄便の月別の搭乗者数と搭乗率について行きと帰りの便に区別して教えて下さい。

427人(52・7%)。行きと帰りに分けた数値は、全日空が公表しておらず、岩国空港事務所も把握していません。

②航空会社によると沖縄便は当初から夏ダイヤや限定の運航だったとされていますが、県も知っていたのなら、県民に説明すべきだったのではないですか。

岩国錦帯橋空港について

搭乗者数の

詳細は把握していない

答弁 ①往復の利用状況は、6月：3835人(38・9%)、7月：4486人(42・7%)、8月：5

②10月29日までの期間運航であることは、全日空のホームページで公表されていましたが、県民も知るところの状態にありました。



のコメント

帰りの便の搭乗率はさうに低いので、隠したいようです。赤字確実な路線が何のために作られたのか、大きな疑問が残ります。政治的意図があったのではという見方も。

傍聴席

全日空が発表していないから搭乗者の往復別はわからない。それなら総数と岩国からの搭乗者を発表してほしい。実情を把握しようとする県の姿勢は全くなした。HPを見るに至っては民間企業の代弁でしかない。自治体のこんな姿勢が運航休止の一因かもしれない。



のコメント

その後、知事は、騒音や安全性などは問題ないと発言しています。お金と引き換えに基地の拡大を認める姿勢からすれば、受け入れを拒否する選択肢は初めからなかったようです。

上関 原発 国の政策上の位置づけ変更なし

質問 ①県の延長許可の判断の時点は、会社から申請のあった24年10月だと考えていいですか。

答弁 ②申請前の9月に、「原発の新增設は行わない」という政府の方針が出されており、上関原発の建設が不透明になっていったことはまぎれもない事実でした。当時の状況では、延長許可の要件に該当しないことは明らかだと思えます。

①審査にあたっては、

申請時点のみならず、将来においても上関原発が国のエネルギー政策に位置付けられているかどうかを確認する必要があります。

②24年9月の閣議決定は、「原発の新增設は行わない」との方針を踏まえて今後検討するとされました。一方、重要電源開発地点の指定は解除されなかったため、申請時点において、国のエネルギー政策上の位置付けは変わっていません。



のコメント

県は、現在のエネルギー政策を基準に判断したいようですが、延長許可の判断は、24年10月の申請時点で行うというのが、法律の常識です。その当時は、上関原発が確実に建設されるとは誰にも言えない状況にあり、今回の延長許可は、法律の要件を満たさず違法だと思えます。



点線内が建設予定地

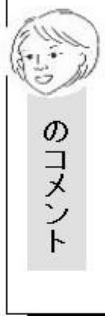
質問 ①今年度から導入された普通高校の全県一区化は、選択の幅を広げる一方で、特定の学校への志願者の集中という懸念も生じています。その目的と全国的な動き、志願者の動向の变化などを教えてください。

②宇部高校と下関西高校の理数科の募集を停止し、探究科を設置するという29年度の学科改編案が示されました。その内容と目的を教えてください。

高校改編について 主体的な学校選択を図る

府県で実施されています。今年度の普通科の入試では、従来の通学区域外からの志願者数がほぼ倍増しています。

②探究科は、知識・技能の確実な習得、発展的な教科学習や問題解決を図る学習活動を重視したものであり、次代を担うリーダーの育成を目的としています。



のコメント

センター試験の変更や全県一区化など、急激な改編に伴い様々なひずみが生じる恐れもありますので、今後とも、その行方を注視していきます。

質問時間オーバー



議員には本会議での質問時間が決められています（大きな会派は持ち時間が長く、私のような小さな会派は短いという不平等はありますが）。

持ち時間を超えると、議長から「時間が来ました『質問をやめてください』」と指摘があり、質問途中であってもやめなければなりません。しかし、今議会である自民党議員の質問が1分近くオーバーしても注意されることがありませんでした。ある女性議員の一人は、「私の時は、数秒でも超えると注意されるのに、どうして差をつけるの？」と不満をもらしていました。

議長は公平でなければならぬはずですよ。



原発推進の意見書

長年工事が止まっていた上関原発について、山口県は8月に海の埋立て免許の延長を許可するという決定をし、中国電力に伝えました。

安倍政権が、原発再稼働や原発の輸出に力を注いでいるという現状を受けて、9月県議会では「原子力発電の推進を・・・」という趣旨の意見書が自民党から提出され、賛成多数で可決されました。

フクシマ事故の終息も見ないうちに、原発を推進するなんて非常識極まりないと思います。

答 ①通学区区域の全県一区化は、中学校生が、自らの能力や適正に依り、主体的に学校を選択できるようにすることを目的として、23年度全国

井原すがこ 後援会事務所

住所 岩国市今津町4-11-20
コーポ舩本 1階
電話 0827-21-9808
ブログ「井原すがこの想い」
<http://blog.goo.ne.jp/sugako31>